



くじ

市議会だより

第33号

2013年
(平成25年)
12月1日発行

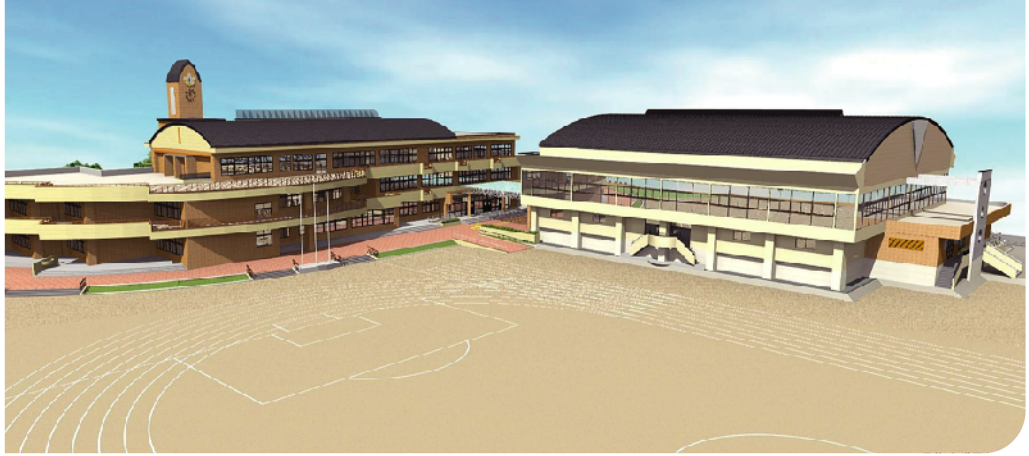


— 「くじと！やまがた街道祭」開催！ —

主な内容

- 市議会を読む 9月定例会 2～3
- 委員会の審査から 4～5
- 一般質問・各会派の関連質問 6～11
- 委員会の構成／政務調査費 12
- 議会報告会／他市に学ぶ／議長交際費 13
- 意見書／傍聴席からひとこと 14

平成24年度一般会計歳入歳出決算などを認定



久慈小学校屋内運動場完成予想図

第13回市議会9月定例会は、9月27日から10月11日までの15日間の会期で開かれました。本定例会では、平成24年度一般会計、各特別会計歳入歳出決算、水道事業決算など認定議案9件のほか、平成25年度一般会計補正予算など8議案の市長提出議案と議員発議案1件について審議し、すべての議案を認定、可決しました。

平成24年度各会計決算については、決算特別委員会を設置し審査を行いました。また、一般質問では、各会派を代表して5人が、個人で1人の議員が登壇して質問を行いました。

補正予算

- 平成25年度一般会計補正予算(第3号)
 - 今回の歳入歳出予算の補正は、既定の予算額に歳入歳出それぞれ11億6129万8千円を追加し、補正後の予算総額を274億7333万7千円とするものです。
 - 主な補正の内容は次のとおりです。
 - 地上デジタル放送対策事業費 8500万3千円
 - 三陸鉄道運営費等補助金 464万5千円
 - 住宅用太陽光発電システム導入促進費補助金 500万円
 - 福祉避難所設置事業費 498万円
 - 保育士等処遇改善事業費補助金 2288万4千円
 - いわて農林水産物消費者理解 145万3千円
 - 国体開催推進事業費 1535万7千円
 - 津波避難施設整備事業費 765万6千円
 - 学校維持補修経費 1051万5千円
 - 第2次北野XII遺跡発掘調査事業費 1535万7千円
 - 地域経済循環促進事業費補助金 240万円
 - 解増進対策事業費 2135万円

条例等

条例の改正などの議案5件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

- 児童福祉審議会条例の一部を改正する条例
児童福祉審議会の機能を増やし、委員の定数を改めようとするものです。

議員発議

●地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について
詳しくは、最終ページの「意見書」をご覧ください。

討論

第12回臨時会
臨時会は7月29日に会期1日の日程で開催しました。本会議では市長提出議案2件について審議し、いずれも原案のとおり承認可決しました。

●久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その1工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その2工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その3工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その4工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その5工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その6工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その7工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その8工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その9工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その10工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その11工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その12工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その13工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その14工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その15工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その16工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その17工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その18工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その19工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その20工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その21工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その22工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その23工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その24工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その25工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その26工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その27工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その28工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その29工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その30工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その31工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その32工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その33工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その34工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その35工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その36工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その37工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その38工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その39工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その40工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その41工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その42工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その43工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その44工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その45工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その46工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その47工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その48工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その49工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その50工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その51工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その52工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その53工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その54工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その55工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その56工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その57工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その58工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その59工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その60工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その61工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その62工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その63工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その64工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その65工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その66工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その67工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その68工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その69工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その70工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その71工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その72工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その73工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その74工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その75工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その76工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その77工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その78工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その79工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その80工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その81工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その82工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その83工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その84工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その85工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その86工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その87工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その88工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その89工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その90工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その91工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その92工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その93工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その94工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その95工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その96工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その97工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その98工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その99工事の請負契約の締結に
久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その100工事の請負契約の締結に

議案等審議結果

第12回市議会臨時会
【条例等】
○久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その1工事の請負契約の締結に
○久慈湊漁港海岸災害復旧(23災第633号防潮堤)その2工事の請負契約の締結に

第13回市議会9月定例会
【決算】
○平成24年度久慈市一般会計歳入歳出決算
○平成24年度久慈市土地取得事業特別会計歳入歳出決算
○平成24年度久慈市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
○平成24年度久慈市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
○平成24年度久慈市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算
○平成24年度久慈市魚市場事業特別会計歳入歳出決算
○平成24年度久慈市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
○平成24年度久慈市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
○平成24年度久慈市水道事業会計決算

【補正予算】
○平成25年度久慈市一般会計補正予算(第3号)
○平成25年度久慈市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
○平成25年度久慈市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

【条例等】
○後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
○市税条例の一部を改正する条例
○児童福祉審議会条例の一部を改正する条例
○久慈浄化センター電気設備工事の請負契約の締結に
○久慈市立久慈小学校屋内運動場改築主体工事の請負契約の締結に

【議員発議】
○地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について

9月定例会賛否一覧 ※これ以外の案件等は全会一致で可決等されています。

議案番号 議案名	審議結果	賛成 反対	議員名																								
			1 梶谷武由	2 下川原光昭	3 藤島文男	4 上山昭彦	5 泉川博明	6 木ノ下祐治	7 畑中勇吉	8 砂川利男	9 山口健一	10 桑田鉄男	11 澤里富雄	12 中平浩志	13 小柳正人	14 堀崎松男	15 小倉建一	16 小野寺勝也	17 城内仲悦	18 下館祥二	19 中塚佳男	20 八重櫻友夫	21 高屋敷英則	22 宮澤憲司	23 大沢俊光	24 濱欠明宏	
平成24年度久慈市一般会計歳入歳出決算	賛成多数	20:3	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度久慈市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	賛成多数	21:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度久慈市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	賛成多数	21:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成 ●は反対 ※ 議長(八重櫻友夫)は採決に加わりません

ひとくちメモ
【討論とは】
討論とは、議員が議題の表決の前に、議題となっている議案などに対して賛成か反対かの意見を表明することです。
討論の目的は、単に賛否の意見を明らかにするだけではなく、まだ賛否を決定していない議員に対し、自己の意見に賛同させるとともに、意見の異なる議員を自己の意見に同調させることに意義があります。

反対 城内仲悦 議員
第1に防災公園整備事業に関して、曖昧な答弁に終始し、あえて建設場所を費用がかさむ地滑り地帯に設定した理由が明かされていないこと。第2に新火葬場の建設場所の選定が不透明であり、建設費もかさんでいること。第3に久慈小学校改築設計の業者選定が不可解な結果であったこと。第4に高すぎる国保税の問題で、県単位の広域連合に棚上げし責任逃れすべきではないこと。以上の点から反対する。

委員会の審査から

教育民生、産業建設の各常任委員会を10月4日に開き審査しました。

教育民生

教育民生委員会に付託された議案4件を審査しましたので、そのうち2件について概要を紹介いたします。

●児童福祉審議会条例の一部を改正する条例

「子ども・子育て支援法」の施行に伴い、市町村は「子ども・子育て支援事業計画」を策定することとされ、策定にあたっては「地方版子ども・子育て会議」の意見を聴くこととされています。

今回の改正は、既存の「児童福祉審議会」に「子ども・子育て会議」の機能を持たせ、かつ審議会の委員の定数を改めようとするものです。

【問】委員の人数の設定は自治体の裁量でできるのか。

【答】人数の設定は各市町村にゆだねられており、幅広い審議をとの趣旨から、15名以内という人数を設定した。

【問】これまでの審議会での

審議内容は、「児童福祉審議会」は、従前の「保育所適正配置審議会」を引き継いだ審議会であり、主に保育所の統廃合の際に意見を聴いてきている。

そのほか、委員の選考、条例の名称、今後の審議会の活動内容などについての質疑、答弁が交わされました。

●久慈市立久慈小学校屋内運動場改築主体工事の請負契約の締結に關し議決を求めることについて

久慈小学校屋内運動場改築主体工事を実施するにあたり、株式会社新田組と請負契約を締結しようとするものです。

工事の概要は、旧校舎が位置していた場所に、地上2階建ての屋内運動場を建設するものであり、防災機能強化のため、自家発電設備の整備、床暖房設備の整備、トイレへの雨水の利用システムを導入しようとするものです。

完成は平成26年8月末を予定しています。

【問】耐震強度がどの程度で設計されているか。

【答】新耐震基準を用いており、震度6程度の大規模地震でも、補修することなく使用できる耐震基準で設計されている。

【問】非常時における電源の確保は。

【答】通信機器を利用するなどの必要最低限の電力は、校舎側の太陽光発電設備から確保する計画であり、屋内運動場に設置される自家発電設備では、灯油を使用して数日間の電源の供給が可能であると見込んでいます。

そのほか、避難所としての使用、入札の内容、雨水の利用、消火対策などについての質疑、答弁が交わされました。採決の結果、いずれの議案も全員異議なく可決すべきものと決しました。

産業建設



屋内運動場建設地を視察する委員会

産業建設委員会に付託された議案1件を審査しましたので、概要を紹介いたします。

●久慈浄化センター電気設備工事の請負契約の締結に關し議決を求めることについて

久慈浄化センター電気設備工事の施工にあたり、向洋電機株式会社と請負契約を締結しようとするものです。

内容は、供用開始から21年が経過し、その後の普及人口の増加に伴い、水処理施設的能力不足が見込まれることか

ら、処理能力を5400m³に向上させるため、機械設備と電気設備の整備を行い、平成27年3月末までに完了しようとするものです。

【問】入札参加業者の状況は。

【答】市内業者5社を指名したうち、入札参加業者は全5社であった。

【問】普及人口、水洗化人口、水洗化率は。

【答】現在の水洗化率は、普及人口1万3029人に対し、水洗化人口6541人であることから、50・2%である。また将来の普及人口を1万7000人と見込んでおり、今回の増設工事によって、対応可能となる水洗化人口は7700人から1万1300人となる。

そのほか、津波・大雨等による浸水対策、地上部分の利活用方法などについての質疑、答弁が交わされました。採決の結果、全員異議なく可決すべきものと決しました。

平成24年度決算報告

平成24年度の一般会計と7つの特別会計、1つの企業会計の決算を審査するため、議長及び議会選出の監査委員長及び議員で構成する決算特別委員会（澤里富雄委員長）を設置し、10月8日、9日に審査しました。

歳入総額は403億2106万円、歳出総額は382億1023万円となり、認定に付されたすべての会計の決算は、認定されました。



澤里決算特別委員長

決算額は382億円

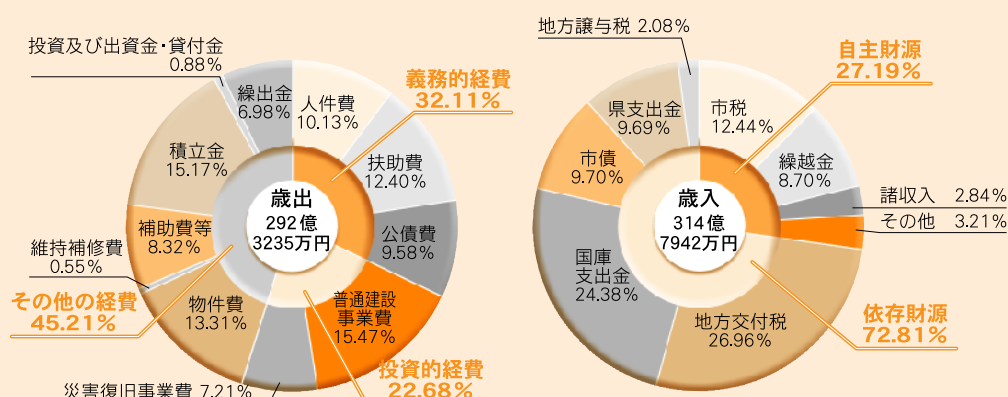
市の基本的な経費である一般会計の決算額は、歳入が314億7942万円、歳出が292億3235万円となり、

各会計の決算額

区 分		歳 入	歳 出	
一 般 会 計		314億7942万円	292億3235万円	
特 別 会 計	土地取得事業	2100万円	2100万円	
	国民健康保険	事業勘定	48億6126万円	48億602万円
		直営診療施設勘定	2億7190万円	2億7190万円
	後期高齢者医療	2億5974万円	2億5923万円	
	介護サービス事業	8257万円	8257万円	
	魚市場事業	3億9369万円	3億8862万円	
	漁業集落排水事業	4億1120万円	4億1120万円	
	公共下水道事業	15億8110万円	15億6809万円	
小 計		78億8246万円	78億863万円	
企業会計	水道事業	7億3207万円	7億5252万円	
	収益的収入及び支出 資本的収入及び支出	2億2711万円	4億1673万円	
合 計		403億2106万円	382億1023万円	

※1万円以下の金額は端数調整をしています

平成24年度一般会計決算



■市税の内訳と一人あたりの負担額

税の種類	金額	構成比
▶市民税	15億228万円	(38.36%)
▶固定資産税	20億5806万円	(52.56%)
▶軽自動車税	8035万円	(2.05%)
▶市たばこ税	2億6762万円	(6.83%)
▶鉱産税、入湯税	777万円	(0.20%)
合計	39億1608万円	

市民一人あたり 104,596円
(市税の総額÷市の人口)

■市民一人あたりに使われたお金

市民一人あたり 780,779円
(一般会計の歳出総額÷市の人口)

※市の人口=37,440人
(平成25年3月末住民基本台帳人口)

積極的に再生可能エネルギー導入を

市長―事業者の誘致など積極的に関わっていく

一般質問は、10月2日・3日の2日間行われ、各会派を代表して、泉川博明、下川原光昭、小野寺勝也、高屋敷英則、小倉建一の各議員が代表質問を、梶谷武由議員が個人質問を行いました。また、各会派では関連質問を行いました。質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

各会派の関連質問

◆ 新政会

◆ 上山 昭彦 議員

あまちゃん効果の継続を

【問】日本中に当市の多くの資源を広め終了した「あまちゃん」の地域活性化効果を継続させる方策として、あまちゃん口フ症候群を利用した、あまちゃんのドラマ検定等の関連イベントを打ち出しては、

【答】今後も受け入れ体制の充実などに取り組み、あま口フ症候群の最高の療養地として当市を発信し、あまちゃん検定も十分に検討したい。

◆ 木ノ下 祐治 議員

火葬場運営で地域との約束は

【問】新火葬場を建設運営するにあたり、地域との懇談を行った際に、町内会から出された雇用の継続に関わる要望をどのように捉えているか。

【答】久慈広域連合では、久慈広域葬祭業協同組合を施設の指定管理者に選定し、運営している。異なる組織体であり、答弁はできないが、今後久慈広域連合とも意見を交わしていきたい。

◆ 澤里 富雄 議員

三陸ナンバー導入の考えは

【問】「あまちゃん」等で全国に三陸が発信され注目を集めている今、地域振興や観光振興の観点から、以前より導入基準が緩和されている三陸ナンバーの「三陸ナンバー」を導入すべきでは。

【答】三陸沿岸地域が発展する有効な施策の一つとして、これまで以上に機運が高まっている。当市としても、関係自治体と足並みを揃え取り組みたい。

◆ 中平 浩志 議員

意識を高められる防災訓練に

【問】当市を中心に、広域で初実施された県主催の総合防災訓練は、関係各機関がさまざまな想定をしながら訓練を行った。防災意識向上のためにも訓練者以外の一般市民の

積極的に再生可能エネルギー導入を

市長―事業者の誘致など積極的に関わっていく

済波及効果も33億円と言われている。さらなる観光客の誘客効果のためにも統編を要望する考えは。

【答】放送開始以降多くの観光客から来訪していただき、街がにぎわいを見せており、「あまちゃん」効果は絶大であると捉えている。市民の皆さんからも統編を望む声を聞いており、市としても日本放

【問】自然エネルギー導入の当市の建設計画と見通しは。また、復興計画では再生可能エネルギーに取り組むとしており、太陽光発電などは産業振興にもなることから、さらなる導入に向け、積極的に誘致活動をすべきでは。

【答】市内における自然エネルギーの導入状況は、太陽光発電では、3事業者が運転を開始した。現在、久慈地区拠点工業団地への太陽光発電事業の導入についての公募に向けて調整を進めているほか、風力発電事業者の誘致に向けて取り組んでいる。他にも、波力発電実証調査による、陸上ベンチ試験や実証用設備の設計なども進められている。

【問】年内に策定し、年明けには国への申請が目標とされる、第2期中心市街地活性化基本計画では、道の駅やませ土風館や、駅前を拠点に、にぎわいづくりを目指すとしている。最良の計画の策定を望むが、今後の取り組みは。

【答】現在、駅前広場整備事業や複合施設整備事業を中心に基本計画の概要について、内閣府と協議を継続している。さらに、ワークショップ参加者の意見等を踏まえ、基本計画の概要を取りまとめたいと考えている。

その後、久慈市中心市街地活性化協議会に基本計画の案を示して、最終的な取り組みを行い、国へ申請したい。

【問】視聴率が好調の中終了した連続テレビ小説「あまちゃん」の放送は、全国的に好評を得て、観光客も殺到し経



あまちゃん効果で賑わう観光地

【その他の質問項目】 ほか

【問】文部科学省では来年度、土曜授業を全公立小中高校の約2割で実施するとしているが、当市ではどのように考えているか。

【答】土曜授業の制度化については、設置者の判断で土曜授業がしやすいように、学校教育法施行規則を改正する方向であることや、その留意点を示す程度の内容となっている。教育委員会では、今秋をめどに現状等を分析し、校長会などの意見も参考にしながら、慎重に検討する。

【問】平庭高原の白樺林の今後の保護・育成方針は。

【答】平庭高原は、岩手県の自然を代表する景勝地という位置づけで、昭和36年に県立自然公園に指定されており、希少野生動植物が生育・生息する環境であることから、県立自然公園条例に基づき保護をしている。

現在、県より自然公園保護管理員設置委託を受け1人を配置し、また、緊急雇用創出事業により作業員6人を配置し、下草刈りや倒木処理などを行っている。

今後、管理者である県と連携を図り、白樺林の保護・育成に努めていく。

【その他の質問項目】

健康で生きがいを持ち、自立した生活を送ることができよう、老人クラブ活動助成事業やシニアスポーツ大会の開催、地域住民が主体となつて運営する「ふれあいサロ

【問】高年齢者が夢と目標を持つて長生きできるような取り組みは。

【答】健康で生きがいを持ち、自立した生活を送ることができよう、老人クラブ活動助成事業やシニアスポーツ大会の開催、地域住民が主体となつて運営する「ふれあいサロ

【問】防災ワークショップでの地域課題などについて話し合いを重ね、短期、中期、長期の仕分けと、住民、協働、行政の実施主体別に整理し、地域の行動計画を取りまとめている。

地域の行動計画は、復興事業、久慈市地域防災計画及び避難訓練に反映させるように努めていきたい。

【問】震災後から検討を重ねている再生可能エネルギーについて、当市に最適なものは何か。

【答】当市は、日照・風況に

防災ワークショップ取りまとめ後の取り組みは

市長―地域の行動計画を防災計画などに反映させたい



防災ワークショップの様子

【問】防災ワークショップでの住民意見と地域課題について、どのように捉えているか。

【答】ワークショップでの地域課題などについて話し合いを重ね、短期、中期、長期の仕分けと、住民、協働、行政の実施主体別に整理し、地域の行動計画を取りまとめている。

地域の行動計画は、復興事業、久慈市地域防災計画及び避難訓練に反映させるように努めていきたい。

【問】震災後から検討を重ねている再生可能エネルギーについて、当市に最適なものは何か。

【答】当市は、日照・風況に

防災公園の建設場所の変更は可能では

市長―場所の変更は不可能と伺っている

【問】 防災公園の建設場所について、6月議会では、「場所の変更はできない」と答弁している。しかし、「社会資本整備総合交付金交付要綱」の第8の4には「変更する場合には準用する」と記してあるため、結局、建設場所の変更が可能だということだ。



防災公園整備予定地の現地調査

の中で言われたというが、誰が言ったのか。

【答】 国・県との話し合いの中で、「一度出した場所の変更は避けて欲しい、変更は不可能である。」との要件が付されていたもの。話し合いの相手方は、国土交通省である。

【問】 国税の滞納処分停止について、滞納処分すると生活保護を受けなければ生活を維持することができない恐れがある場合も、滞納処分の停止要件となると思うが。

【答】 滞納処分を執行すると生活を著しく窮迫させる恐れがある場合には、滞納処分の執行停止ができることになっているので、滞納処分の停止の要件に当てはまる。

災害被害に

支援制度を

【問】 近年、局地的な豪雨被害が頻発している。今年になり県や他市町村では、災害被害に対しての補助や見舞金制度の実施に踏み出している。市としても独自の支援制度を作るべきと思うが。

【答】 現在、市独自の制度創設について検討中で、対応などをしながら進めたい。

【問】 群馬県高崎市では、「まちなか商店リニューアル事業」いわゆる「商店版リニューアル助成事業」を作り、注目されている。当市でも、こうした事例を参考に、商店版リニューアル助成事業を作るべきと思うが。

【答】 中心市街地の活性化は

最優先の課題と捉えており、商店主のやる気を後押しすることが重要だ。助成の制度化にあたっては、商店主の意識の醸成を見極めながら研究していきたい。

【問】 小久慈町の通学橋に接する市道への歩道設置、市道大川目線の秋葉地内の整備を早急に実施すべきと思うが。

【答】 通学橋付近の歩道設置の必要性は認識している。しかし、筆界未定や相続問題があり、解決には時間を要する見込みだが、設置に向けて努力していきたい。

市道大川目線の整備だが、重要な路線と認識しており、生出町線の進捗状況を見ながら着手に向け努力したい。

【その他の質問項目】
被災者の医療費 ほか

創政会

◆藤島 文男 議員

大成橋南側へ信号機の設置を

【問】 大成橋南側の信号機設置についての要望と見直しは。

【答】 信号機設置の必要性については認識しており、これまで久慈警察署を通じて岩手県公安委員会にも設置を強く要望してきた。

このたび平成26年度の重点事項要望として、県知事に対して提出しており、この要望は平成20年度から続けてきている。

今後関係する各種団体とも連携しながら、実現に向け取り組んでいきたい。

◆桑田 鉄男 議員

闘牛大会のあり方について

【問】 平庭の闘牛大会は、当市の観光の目玉の一つであり、大いに盛り上げていくべきと思うがどうか。

【答】 平庭闘牛は観光闘牛と

● 一般質問

清風会 高屋敷 英 則 議員

国保山形診療所の後任医師の確保見通しは

市長―継続診療できるよう医師確保に努力している



医師確保が望まれる国保山形診療所

【問】 国保山形診療所医師の辞任は事実か。辞めるのが事実であれば、後任医師の確保見通しは。

【答】 国保山形診療所は、医師一人体制で運営しているが、本人より10月末で退職したい旨の申し出があった。

これを受け、市では県医療局や県国保連合会に協力を要請するとともに、医師求人広告を掲載するなど後任医師確保に努力している。

地域住民の生命と健康を守るための重要施設であることから従来通りの診療体制で継続運営できるよう取り組みたい。

【問】 ラジオの難聴解消についての具体的調査結果は。

【答】 車載ラジオによる調査により難聴地域の絞り込みを継続実施している。

ラジオ中継局の整備には多額の費用がかかるなど、課題もあるが、調査結果をもとに放送事業者と連携を図り、原因の特定と難聴解消を進めたい。

【問】 最近の入札不調の実態の把握状況は。また、入札指名業者選定する考えは。

【答】 予定価格130万円以上の市営工事の入札不調は、平成23年度は149件中14件、平成24年度は、107件中16件、平成25年度は8月末現在、63件中2件となっているが、再入札では全契約締結している。

入札業者は、自社の人員体制などを考えて、入札辞退が可能であることから現況報告の義務付けは考えていない。

【問】 当市における震災被災者の生活、住宅再建に向けた

追跡調査等の状況は。

【答】 住宅再建は、大規模半壊の124世帯中68世帯が住宅再建し、残る56世帯中25世帯が公営、集団移転等での再建を希望している。半壊の169世帯、一部損壊の305世帯についても災害救助法や県、市独自の支援事業等で再建が進んでいる。

生活再建は、8月末で基礎支援金123件、加算支援金68件の支援となっている。復興通信や各種相談会案内を実施し、関係機関が連携して再建支援に取り組んでいる。

【問】 葛巻町ではTPP対策として、100億円をかけて乳牛5000頭を増やす計画が国から認可されたと伺っている。当市独自のTPP対策等を示し、取り組む考えは。

【答】 TPPにおける国からの情報が不透明である。無条件に関税が撤廃された場合は、当市農林水産業に及ぼす影響は甚大であると考え、対策について、葛巻町の取り組みなどを参考にしたい。

日本共産党久慈市議団

◆城内 仲悦 議員

商店版リフォーム助成制度は

【問】 群馬県高崎市では、商店版リフォーム助成制度の設

見学者を増やす方策を考えては。
【答】 訓練会場の見学でも一定の効果はあると考えており、円滑な運営等を考えながら、見学者も多くなるような、よりよい防災訓練にしていく。

一般質問

政 和 会 小 倉 建 一 議員

公約の多選自粛条例は怎么样了

市長—自律規定の観点から提出時期へ

【問】山内市長立候補時の公約であった市長多選自粛条例について、10年にわたり何回もの質問に検討しているとの答弁の繰り返しであり、今期中の条例制定を急ぐべきであるが、現状は。

【答】多選自粛条例について今後の条例化についてはかねて言及した通り自らを律する自律規定の観点から検討し、

憲法解釈や国の法整備の動向も注視し条例提案の提出時期を見きわめて参りたい。

【問】いわて国体軟式野球競技について、新野球場建設は国体に間に合わず現仮設球場を整備し使用するには多額の経費を要する。しかも国体開催翌年には取り壊すとの事であるが、近隣町村にメイン球場にふさわしい球場があり、市と共同運営も可能と思うが他町村にお願いの考えは。

【答】平成22年結成された会場8市町村で組織する第71回国民体育大会軟式野球競技開催準備委員会で、市町村別競技会期と試合数を協議し久慈で決勝戦を含む8試合を行う事から万全な競技運営が行われるよう関係機関と一体となった取り組みをしたい。



議場での山内市長

【問】2020年東京オリンピック開催が決まり、ドイツは世界選手権でも活躍し、柔道の強い国であることから、柔道の街として交流が途絶えているドイツのケーニヒスブルン市との柔道交流を復活し、柔道の街づくりに生かしては。

【答】平成13年当時、当市で国際柔道大会を開催した事からケーニヒスブルン市からの希望で、お互いの市の訪問や柔道訪問団体の受け入れの経緯があるが、現時点でケーニヒスブルン市との柔道交流を実施する考えに至っていない。

【問】国・県事業の漁業施設整備に係る受益者負担の軽減の考え方は。

【答】漁業施設の復旧には、国・県・市で9分の8の補助率を導入し、受益者は9分の1の負担で事業を実施してきるところである。

【問】いわて森のトレイ裁判の完全敗訴から3年が過ぎ、債務整理に向けた市の実績と行政執行責任の所在はどこにあるか。

【答】会計検査院から予算執行が法律に違反との指摘を受け、林野庁から県に国庫補助金12億7900万円の返還命令が出され、県及び弁護士と協議を重ね回収に向け取り組んでいるところである。

【その他の質問項目】
防災公園整備事業について／山形診療所について／市保育園の民間委譲について／漁業振興について／地域遺産について ほか

計にあたり、市職員が約300の商店を調査し、実態をつかんで制度設計に入っている。当市としても商店街を戸別訪問し、実態をつかんで制度設計し、創設してみたい。

【答】制度には課題等も色々あると思うが、商店主の意識の醸成を見極めながら、調査方法も含め研究していく。

清風会

◆畑中 勇吉 議員

潮騒のメモリー全国大会を

【問】「あまちゃん」ブームを一過性に終わらせないためにも、放映一周年感謝祭や、挿入歌「潮騒のメモリー」の歌、踊りの全国大会開催など企画しては。

【答】「あまちゃん」人気を今後の観光誘客に生かせるよう官民一体で取り組みたい。提言いただいた感謝祭、挿入歌の歌、踊りの全国大会開催等も含む今後の取り組みについても、あまちゃん支援協議会等で検討、協議したい。

◆小柳 正人 議員
太陽光発電の導入状況は

【問】当市における、家庭用太陽光発電の補助金申請状況

【問】長内、湊地区は学校や病院等があり両地区とも被災した事から緊急度でいけば最も優先すべきと思うがその路線の進み具合の状況と計画中心が具体的に問う。

避難道路の進捗状況は

【問】長内、湊地区は学校や病院等があり両地区とも被災した事から緊急度でいけば最も優先すべきと思うがその路線の進み具合の状況と計画中心が具体的に問う。

【答】湊源線の用地は地権者の協力を得て今月発注していく。JRの踏み切りは来年度中に改修される。長小通線は全員内諾を得て今月中に発注したい。小

袖地区の避難路は集落上村に上がっていく道が急峻だが、できるだけ早い時期に整備を進める。

◆濱欠 明宏 議員

小規模災害被災者見舞金制度

【問】国の災害救助は、適用外でも準ずる災害として県が基礎支援金の支援の制度を創設した。見舞金制度は33市町村中15で実施している。

当市も、国や県が支援できないところを補って支援する見舞金制度を創設すべきと思うが、考えは。

【答】県中部豪雨災害に対し、県の新制度で生活再建支援制度の基礎支援金に準じたものと同じである。全国市長会を通じて制度の拡充について要望している。

一般質問

社会民主党 梶谷 武由 議員

小学校の遊具の整備計画は

教育長—鉄棒を優先し、その他の遊具も計画的に整備していく

【問】小学校の遊具が著しく少ない。遊具を使用しての遊びは、運動能力の向上や子どもたち同士で人との関わりを学ぶことも多く、心身ともに健全に育つことが期待される。学校関係者や保護者からも遊具の設置要望が強いが、整備・更新計画は。

【答】授業で使用する鉄棒は今年度中に整備する。うんていなどのその他の遊具については、学校や保護者の要望を

踏まえ整備していく。

河川等の

水質汚濁防止策は

【問】一般家庭や事業所からの排水処理が不十分なため、水量が少ない時の農業用水路や河川の汚れが著しい。河川の汚染状況把握と、排水を下水道へ接続させる計画は。

【答】河川等の水質調査を行っており、平成24年度の環境基準達成率は95・7%である。下水道に接続しない大きな理由は家の老朽化、住人の高齢化、多額の経費負担が挙げられるが、戸別訪問を行いながら接続するよう要請している。

【問】公共交通は、自家用車を利用できない人だけでなく遠くに出掛ける時などなくてはならない乗り物である。遠



整備が望まれる遊具

くに出掛ける際、駅やバス停付近に駐車場があれば鉄道やバスの利用促進につながる。考えるが、駐車場の確保を事業者に働きかける考えは。

【答】駐車場確保は、利用促進に有効と考えられるので、機会をとらえて運行事業者に働きかけていきたい。

【問】小・中学校の図書館司書の配置を求める声が大きくなってきた。図書館司書の配置に向けた検討状況は。

【答】第一に図書冊数の基準を達成するよう充実していきたい。また、巡回型の司書配置の実現に向け今後も努力していきたい。

【その他の質問項目】
小規模災害被災者支援策創設の考えについて ほか

政和会

◆砂川 利男 議員

集中豪雨による災害対策は

【問】久慈郵便局一帯のみならず市内は9年に1回くらい床上浸水になっている。

【答】今回補正予算で発電機と水中ポンプ2機をフンセットで6セットを土木業者等に保管管理を委託し、効率的に排水できるよう対応したい。

また、各分団等にも発電機の配置をした。さらに水防関係の訓練も実施し、これまで比べて数段能力が向上すると思われる。

◆大沢 俊光 議員

議会運営委員会・各常任委員会の構成が変わりました

委員の任期満了に伴い、9月27日に議会運営委員会及び各常任委員会の委員を新たに選任しましたのでお知らせします。

同 山口 健一
同 桑田 鉄男
同 澤里 富雄
同 堀崎 松男
同 城内 仲悦

福祉事務所、教育委員会の所管に属する事項を所管し、事務の調査や議案、請願・陳情の審査を行う委員会です。

議会運営委員会

委員長 小柳 正人
副委員長 城内 仲悦
委員 梶谷 武由
同 上山 昭彦
同 桑田 鉄男
同 澤里 富雄
同 堀崎 松男
同 小倉 建一

総務部、総合政策部、山形総合支所、会計課、選挙管理委員会、監査委員の所管に属する事項、他の常任委員会に属さない事項を所管し、事務の調査や議案、請願・陳情の審査を行う委員会です。

教育民生委員会

委員長 下川原 光昭
副委員長 泉川 博明
委員 中平 浩志
同 小柳 正人
同 小野寺 勝也
同 高屋敷 英則
同 大沢 俊光
同 濱欠 明宏

市民生活部、健康福祉部、

委員長 木ノ下 祐治
副委員長 畑中 勇吉
委員 梶谷 武由
同 小倉 建一
同 下館 祥二
同 中塚 佳男
同 宮澤 憲司

産業建設委員会

農林水産部、産業振興部、農業委員会、建設部、水道事業所の所管に属する事項を所管し、事務の調査や議案、請願・陳情の審査を行う委員会です。

総務委員会

委員長 砂川 利男
副委員長 上山 昭彦
委員 藤島 文男

議会の運営、会議規則、条例、議長の諮問に関する事項の協議等を行う委員会です。

他市に学ぶ

先進地視察を行いましたので、その概要を報告します

議会改革推進特別委員会 条例策定専門部会

部長 澤里 富雄

調査項目：議会基本条例の策定と運用について

◆秋田県鹿角市

鹿角市では平成23年12月議会において議会基本条例が提案、決定された。

市民説明会の取り組みについては参加者が少なく、また、パブリックコメントの実施においても郵送で3名のみと、周知の点で問題があったようである。今後、当市で実施する際には市民への周知・方法を十分に研究する必要があると感じた。

代表質問は3月定例会のみとし無党派は行わないこと、一般質問は質問時間を30分、60分、90分の3つから選択方式とし、一議員あたり年間180分としており、原則、議員全員年1回以上行うものと

することなど当市と違うところが多々あった。

◆岩手県北上市

北上市は平成23年12月に基本条例が制定された。

北上市では、請願者が討議・採決の状況を傍聴できるシステムであり、当市でも検討すべきと思う。

また、議会に提案される事項はすべて事前に全員協議会に報告されること、議会の年間スケジュールを年度当初に作成し、それに基づき実施されているなど、大変参考になり、当市でもぜひ実施すべきと感じた。



鹿角市の議場を視察する委員

「議会報告会と市民との意見交換会」最終報告

5月30日に市内3地区で開催された、「議会報告会と市民との意見交換会」において、参加者の皆さんからいただいた意見・要望についての対応方針を決定しました。

意見14件・要望30件は、議長、副議長、各常任委員長等で構成される課題整理会議において、その内容により各常任委員会に振り分けをし、各常任委員会では、その対応方針について、調査・協議を行



報告会の様子

いました。

今後は、いただいた意見・要望を真摯に受け止め、議会活動に生かしていきます。

性を強く感じました。



訓練を視察する市政調査会

市政調査会が 県総合防災訓練を視察

防災の日の9月1日、東日本大震災を教訓に、岩手県総合防災訓練が実施され、住民や103の関係機関などから約9000人が参加しました。当市議会では、久慈市政調査会（藤島文男会長）の事業として訓練を視察し、防災訓練の重要性を再確認するとともに、防災意識の向上の必要

※市政調査会は、市政の調査・研究等を行い、市政の振興に寄与することを目的として、議員全員で構成されています。

議長交際費

平成24年度の議長交際費の支出状況をお知らせします。交際費は議会の円滑な推進を図るため、議長等が議会を代表して外部との交際に要する経費です。支出内容は、議会事務局までお問い合わせいただくか、市議会ホームページをご覧ください。

区分	支出区分の内容	件数	金額
お祝い	祝賀会、懇談会等の祝金、祝酒	18件	75,835円
会費	祝賀会、懇談会等の会費	30件	130,000円
見舞金	市政関係者の病気等への見舞金	0件	0円
土産品	市外からの来訪者への土産品	0件	0円
弔慰	弔慰金、生花代等	5件	46,000円
その他	上記いずれにも属さないもの	0件	0円
合計		53件	251,835円

平成24年度 政務調査費の執行状況

平成24年度に市から各党派等が交付を受けた政務調査費の執行状況を報告します。政務調査費は、党派等が調査・研究するための経費の一部として交付されるもので、当市では議員一人あたり月額5千円を交付しています。なお、地方自治法の改正により平成25年3月1日から「政務調査費」は「政務活動費」に改正されました。

(単位：円)

項目	新政会	清風会	政和会	創政会	共産党	八重櫻議長	梶谷議員	山口議員	合計
所属人数	6人	5人	4人	4人	2人	1人	1人	1人	24人
交付額(A)	360,000	300,000	240,000	240,000	120,000	60,000	60,000	60,000	1,440,000
使用状況	研究研修費				15,640				15,640
	調査旅費	340,200	226,800	226,800	226,800	84,950	40,900	56,700	1,203,150
	資料購入費	19,301	16,084	12,867	12,867	17,653	3,216	6,996	92,200
	広報費							11,800	11,800
	合計(B)	359,501	242,884	239,667	239,667	118,243	3,216	59,696	59,916
使用率(%)	99.86	80.96	99.86	99.86	98.54	5.36	99.49	99.86	91.86
返還額(A)-(B)	499	57,116	333	333	1,757	56,784	304	84	117,210

党派ごとの所属議員は、新政会：澤里議員、木ノ下議員、上山議員、泉川議員、中平議員、中塚議員。清風会：堀崎議員、小柳議員、畑中議員、高屋敷議員、宮澤議員。政和会：小倉議員、砂川議員、大沢議員、濱欠議員。創政会：桑田議員、下川原議員、藤島議員、下館副議長。日本共産党久慈市議団（共産党と表示）：小野寺議員、城内議員。です。

意見書

地方税財源の充実確保を求める意見書

内閣総理大臣ほか 関係大臣等へ提出

9月定例会では、議員発議による次の意見書を可決し、内閣総理大臣ほか政府関係機関などに提出しました。

〔概要〕

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いている。こうした中、基礎自治体である市が住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財源の充実確保が必要不可欠である。

よって、国においては以下の事項を実現されるよう強く要望する。

地方交付税の増額による一般財源総額の確保について、地方交付税を国の政策誘導手段として用いることは避けることなど、5点について要望する。

地方税源の充実確保について、地方が担う事務と責任に見合う税財源配分を基本とし、当面、国と地方の税源配分を「5・5」とすることなど、7点について要望する。

傍聴席からひとこと

「議会傍聴雑感」

木藤古 徳一郎さん
久慈市山形町



合併前の山形村議会は度々傍聴していたが、合併後の市議会の傍聴は今回が初めてだった。

10月2日、所用のために市役所に立ち寄ったところ、議会の開会中であることを知り、さっそく傍聴することにした。私が傍聴席に着いたときは既に開会しており、一般質問が始まっていた。質問者は創政会代表の下川原議員で、大震災の復旧・復興についての質問のほか、全11項目について質問し、いずれも市の発展のために極めて重要な課題であった。

特に私の住んでいる山形町に直接関係の深い、平庭闘牛大会や、平庭エコパーク構想、

平庭高原の白樺林の今後の保護・育成についてを質問項目として取り上げ、市長や担当部長からの答弁があり、活発な議論が展開されたのは、大変有意義な傍聴だったと思う。ただ、用事を終えていなかったたので、次の質問者の質問・答弁が傍聴できなかったことは、甚だ残念だった。今後は、仲間たちも誘い、本気になって最初から最後まで傍聴してみたい。

そんな想いと、より良い久慈市政の発展を祈りながら家路についた。

大学生が市議会を傍聴しました

青森県内の大学生で構成される学生団体「選挙へGO!!」が10月3日、4日に当市議会を訪れ、一般質問・常任委員会を傍聴し、正副議長等と意見交換を行いました。

「選挙へGO!!」は若者の政治意識、投票率向上を目的に設立され、市長や県・市議会議員との意見交換、政治家動画サイトの開設・配信、シンポジウムの開催などの活動を行っています。

議員との意見交換では、代表質問のメリットについてや議員間討議のあり方など、若者ならではのするどい視点からの質問がありました。



学生と議員との意見交換

編集後記

広報編集特別委員会

副委員長 梶谷武由

9月議会は、一般質問や補正予算等の他に、前年度の各会計の決算審査が行われることからよく「決算議会」とも言われている。

会計は、大きくは一般会計、特別会計、企業会計に分類され、会計の種類にもよるが歳入と歳出を比べて見た時、歳入と歳出の金額が大きくかけ離れているのは好ましくない。平成24年度の一一般会計の歳入と歳出との差が約22億円となっており、私は差がありすぎるのではないかと思う。ただ、その理由が明らかで市民の納得できるものであるかが問われるのではないか。

予算の残額が多い理由の一つに、3・11東日本大震災からの復旧・復興関連予算の執行が事業の計画から完了までの間に国や県との協議、住民との合意などに多くの時間を要し、事業を年度内に完了することができなかったことがあげられる。

復旧・復興をさらに加速させるためには、制度の改善や政治的判断が求められる。



再生紙と大豆インクを使用しています